

自転車は、自動車やバイクなどと同じ「車両」の仲間です。交通ルールに十分気を付けましょう

学校プールの開放

期間 7月7日～8月25日の日曜日。実施日は各校で異なります。午前10時～正午、午後1時～3時。

開放校 小学校：桑園・円山・大通・中央・幌西・伏見・二条・三角山・日新・山鼻・盤溪・宮の森・山鼻南・緑丘・大倉山（15校）、中学校：柏（1校）。

対象 小学生と付き添いのいる幼児（泳げない小学生の保護者の付き添い可）。

水温、工事などにより開放を中止する場合があります。

（詳細）札幌市スポーツ振興事業団 ☎(530)5905

中央区身体障害者相談員

中央区では、身体障害者相談員8人が各地区で活動しています。お気軽にご相談ください。

- （肢体）井内貞夫さん（南19西7）☎(511)4465
- 上田 佐さん（大通西24）☎(621)5925
- 織田明春さん（南17西18）☎(621)5925

（視覚）佐川俊樹さん（南21西12）☎(561)0557

添田晃貴さん（北4西26）☎(642)7957

（聴覚）柴野ヨネさん（円山西町3）☎(642)7385

高橋幸子さん（南11西17）☎(561)5314

（音声言語）島 熊雄さん（南20西7）☎(511)9790

（詳細）保健福祉サービス課保健福祉一係 ☎(231)2400（内線352）

☎(563)6489

交通事故発生件数

行楽期は交通事故が多発します。安全運転を心掛けましょう。

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	583 (- 130)	4 (± 0)	740 (- 168)
札幌市	3,466 (- 395)	17 (+ 5)	4,301 (- 432)

平成14年4月30日現在。()は前年度比。

中央区 歴史の散歩道 第83回

夏の到来を告げる風物詩

札幌まつり

昔から、市民の暮らしとともにあり、今も親しまれている札幌まつりの足跡をたどります。

年の渡御には、牛数頭に引かれた「狸々」が瓶より酒を酌む像を飾りつけた三丈（五・四丈）余りの大きな山車が練り歩きました。

祭りといえば、大人から子どもまで人気があつたのが、見せ物小屋。二十五年に、木暮サーカスがトラを見せたのが最初です。

三十二年に、見せ物小屋は、創成川西側の南一条西一丁目から三条橋まで出すことが許され、創成川河畔に並ぶようになりました。

しかし、この見せ物小屋も、昭和三十四年に起きた火事に機に、中島公園へと場所を移します。

この火事は、定員を超えたサーカス小屋から突然火が吹き、逃げ惑う人とやじ馬で、



南一条通の札幌まつりの様子（明治40年）市教育委員会文化資料室所蔵



東宝公案前を行く山車（昭和39年）。札幌神社として最後のまつり。この年の9月に北海道神社と改称（市教育委員会文化資料室所蔵）

このように、様相を変えた札幌まつりですが、現在でも中島公園では、露店が所狭しと立ち並び、たくさんの市民でにぎわっています。

一世紀以上の歴史を刻んだ札幌まつり。これからも初夏の風物詩として、市民に親しまれていくことでしょう。